

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	翔 ~ CoCo ~		
○保護者評価実施期間	令和6年12月5日		令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和6年12月5日		令和6年12月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊富な活動内容を取り入れることで、より多くの経験を重ねることが出来る。	平日の活動では、個別支援や公園活動、室内レクリエーションなどが中心となるが、土日祝日や長期休暇は、JRの乗車体験や映画館、温泉、遠方への外出など様々な活動を取り入れている。また、法人内の合同活動(季節毎のイベント行事や運動会など)も行っている。	平日は、活動が固定されやすい為、少しでも利用者の方が楽しめるように会議等で話し合い、活動計画を立てている。また、土日祝日や長期休暇の活動に対し、各活動の担当者によってスケジュール(日案)を作成しているが、内容の充実化を図る為に今後も引き続き全職員で話し合いを行って、より良いサービス提供が出来るよう努めていきたい。
2	土日祝日、長期休暇中のサービス提供を長時間実施している。	土日祝日や長期休暇中は、9:00~17:00と長時間のサービス提供時間を設けることで、遠方への外出となった場合等、時間に余裕を持って利用者により一層楽しんでもらうことにも繋がっている。	現在のサービス提供時間を維持していく。
3	送迎サービス	送迎場所や送迎時間は、保護者の就労状況なども考慮し、希望があった際は可能な限りニーズに沿えるよう対応している。また送迎の際には、当日の様子報告だけに限らず、情報交換やコミュニケーションを図ることで、より良い信頼関係の構築に努めている。その他にも、希望者に対する自立支援として、保護者と連携を図りながら、自宅の施錠開錠を行い、一人で自宅の出入りをする訓練なども行っている。	現在の取り組みを継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特別支援学校に通う利用者がメインとなるため、平日のスケジュールや活動の内容にも限界がある。	平日は下校時間が統一されていない為、全体活動を実施できる時間がより短くなってしまふ。個々のADL自立状況や行動ペースにもばらつきがある為、作業工程や活動量の多いものに対し、限界を感じ制限せざるを得ない状況に直面することもある。	現在も取り組んでいることだが、朝会や会議等で活動内容や時間配分などを検討し、利用者がより楽しく活動できるように努めていく。
2	事業所内の構造上、室内活動に不向きな場面がある。	室内活動や自由遊びの際に、人数によっては全員一斉に活動に取り組むことが難し時もある。	グループ毎に活動に取り組んだり、室内の構造を活かした活動を検討し、宝探しやボール合戦・リラックスタイム・自由遊びをしたりと、状況に応じて工夫しながら今後も組んでいく。
3	地域交流の機会が少ない。	交流体験などがあっても利用者の支援状況などに見合わないこともあり、積極的に参加することは出来ていない。近くの公園に出かけた際に、時折地域の子どもと交流する機会はあるが、日常的に交流を図ることが難しい状況である。	地域の交流活動などで、利用者の状況に見合い、全員が楽しめるような活動があった際は、積極的に参加できるよう働きかけていきたい。そのためにも、日頃から交流体験に対する情報収集に努めていく必要がある。